

1人ひとりのもつ可能性を活かす仕組みを考えるアート展

# Action!

vol.03

入場無料



## 2017.10.27[金] - 11.5[日]

会場：大分県立美術館1階 展示室A(大分県大分市寿町2-1) 時間：10:00-19:00(最終日は16:00まで)

主催：第33回国民文化祭実行委員会 第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 企画：NPO法人 BEPPU PROJECT  
「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術祭・文化祭おおいた大会」おおいた大茶会1年前イベント

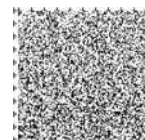
ご予約・お問合せ先 文化祭ホームページ上の『Action!』予約受付フォームまたはお電話にてお申し込みください。

Web: <http://www.oita-kokubunsai.jp>

TEL: 097-529-6286

担当：大分県国民文化祭・障害者芸術文化祭局[衛藤]  
受付時間：9:00-17:00[休み：土日祝]

おおいた  
大茶会



これはSPコードです。  
専用の読み取り装置を利用して、  
情報を音声で聞くことができます。



現在、障がい者アートの普及および課題の解決に取り組む個人・団体が、さまざまな活動を全国で展開しています。時にそれらの活動は、社会の在り方について考えさせ、我々に気づきをもたらします。

本事業は、障がい者アートの展示・鑑賞を目的とする展覧会ではなく、活動に従事する方々の言葉を中心に紹介し、課題やビジョンを共有する場、考え、活動が生まれる場づくりを目指し、平成27年度に始まりました。今年度は、表現することとは何か、真の社会包摂とは何か、1人ひとりの可能性を活かす仕組みとは何かを、さまざまな立場の方とともに考えます。今後、ここ大分県でも、社会を豊かにするための活動=Action が生まれてくることを夢み、本事業を開催します。

## 障がい者アートに関わる個人・団体の活動を紹介(50音順)

### くしのぶまさ 榊野展正

アウトサイダー・キュレーター。「美術」の文脈で語られていない表現者たちに焦点を当て、全国各地の取材を行う。広島県福山市にあるアウトサイダー・アート専門ギャラリー『クシノテラス』主宰。

### ふくずみ れん 福住 廉

美術評論家。生活と芸術の境界線にあたる『限界芸術』の思想を踏まえ、現代のアート活動を論考・探求する。本展ではアートと社会との関係や、現代アートの周縁性について言及。

### 認定NPO法人 クリエイティブサポートレッツ

静岡県浜松市で障害福祉施設の運営、芸術文化の発信・集約を行う。あらゆる「ちがいが」を乗り越え、人間が本来持っている「生きる力」を見つめていく、地域社会のなかの場づくりを目指す。

### みずのき美術館

京都府亀岡市の市街地の町家を改装した美術館。同市内の障害者支援施設『みずのき』の絵画教室で生まれた約1万点の作品所蔵と展示、アール・ブリュットの考察、地域型アートプロジェクトを行う。

### NPO法人 こえとことばと こころの部屋 (ココルーム)

大阪府大阪市の釜ヶ崎で「表現と自律と仕事と社会」をテーマに、貧困、国籍、障がいの有無を超えさまざまな人たちが出会うカフェ・ゲストハウスを運営。出張講座・公演『釜ヶ崎芸術大学』も通年で開催する。



クリエイティブサポートレッツ



みずのき美術館



こえとことばとこころの部屋

## 大分県 みんなのアーツ 体験事業

音楽やダンス、美術などの分野で活躍するアーティストを福祉や教育の現場に派遣し、芸術体験活動を行っている。本展会場では、参加アーティストによる即興パフォーマンスも開催。



あらいひでお  
新井英夫

体奏家。演劇活動や野口操との出会いを経て独学でダンスの道へ。幅広い年齢層を対象とした『ほくす・つながる・ダンスであそぶ』ワークショップを展開中。



かたおかゆうすけ  
片岡祐介

音楽家。スタジオミュージシャンや岐阜県音楽療法研究所を経て、現在は福祉施設や病院などさまざまな場所で即興音楽セッションを行っている。



きむらひてかず  
木村秀和

美術作家。2000年に林業組合の作業中の事故で脊椎を損傷し、車椅子の生活となる。知覚をテーマにしたワークショップや即興表現を行う。



さくましん  
佐久間 新

舞踊家。20代でジャズ舞踊を志す。たんぼほの家との協働をはじめ、多彩なフォーマーとの作品発表を国内外で行っている。



じゃれおおさむ  
砂連尾 理

振付家・ダンサー。舞台作品だけでなく障がいのある人やホームレス、子ども達とのワークショップを手がけ、ダンスと社会の関わりや可能性を模索している。

## Event 全て展示室内

### ■ワークショップ【要予約】

#### からだところてんで奏でよう～福祉×アートを体験する

10/29[日] 14:00～16:00(開場13:30) 定員20名程度

講師:新井英夫[体奏家・ダンスアーティスト]  
対象:福祉施設職員、福祉関係者、教育関係者など  
ご興味のある方ならどなたでも

「体で奏でるせんもん家」の新井英夫さんは、全国の小中学校や福祉施設など、さまざまな場所で「からだをほくしてココロをほくす」身体表現のワークショップを行っています。動きや音を使ってどのようなコミュニケーションや表現を引き出しているのか、まずはご自身で体験してみませんか。バリアフリーな「体のおしゃべり」を楽しみましょう。

### ■トーク

#### なぜ表現するのか? なぜアートでなければならないのか?

10/29[日] 17:00頃～

福住 廉[美術評論家] × 山出淳也[BEPPU PROJECT]

人はなぜ表現するのか。この大きな問いをテーマに続く2人のおしゃべり。展示室の奥のほうで、いつの間にか始まり、いつの間にか終わる、ゆるやかかつスリリングなトークイベントです。途中入退場可。ご自由にお立ち会いください。

### ■セミナー【要予約】

#### 福祉におけるアートやデザインを活かした “商品化”を考える

11/5[日] 13:00～15:00(開場12:40) 定員50名程度

講師:原田祐馬[UMA/design farm、デザイナー]  
藤井克英[一般社団法人 たんぼほの家]  
聞き手:山出淳也[BEPPU PROJECT] 共催:CREATIVE PLATFORM OITA

『Good Job! 展』のトータルアドバイザーを務める原田祐馬氏とGood Job! プロジェクト事務局の藤井克英氏をゲストにお迎えします。「良い商品とは何か?」「売れる商品をつくるポイントは何か?」「そもそもなぜ商品化するのか?」参加者を交えたディスカッションも行います。

## 関連イベント

そのほかにもさまざまなイベントや展覧会を開催しています。

### ■展示

#### Good Job! 展

アートやビジネスなど福祉の領域を超えて、新たな仕事や仕組みを作ることを目指す『Good Job! プロジェクト』。今回の展示では、障がいのある人との協働から生まれた魅力的な仕事や働き方を全国から募集し審査する『Good Job! Award』より、過去に入選した取組を紹介しします。



### ■展示

#### 『第17回 全国障害者芸術・文化祭 なら大会』 サテライト展示

障がい者アートと全国障害者芸術・文化祭の取組を広く知ってもらうため、今年開催のなら大会と連携した障がい者アートの展示を行います。

### ■ダンスパフォーマンス

#### ダンス! ダンス! フェスティバル

10/28[土] 14:00～14:20

障がいのある方とない方による共同のダンスステージ。障がいの有無を超え、ダンスを通じた交流を重ねながら制作した表現をお楽しみください。  
協力:レッツダンスでガッツ元気の会



私たちは  
「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」  
を応援しています  
やまとしうるはし、おもしろし 9.1-11.30開催

